

令和5年度

事業実績報告書

事業所名	ヘルパーステーションこもれび			職名	人数	備考
施設長・管理者名	施設長：西谷 由美 / 管理者：市場 育代			施設長	1名	兼務(みのり大山、ふくもり、こもれび)
実施事業	訪問介護・総合事業・訪問介護自費サービス			管理者	1名	兼務(サ責、訪問介護員)
開設年月日	平成25年8月1日			サービス提供責任者	3名	兼務(管理者・訪問介護員)
所在地	鳥取県倉吉市福守町492-1			生活相談員	名	
正規職員(総合職)数	1名			看護師	名	
正規職員(一般職)数	1名			訪問介護員	4名	
準職員	フルタイム 0名 : パートタイム 2名			調理員	名	
契約職員	フルタイム 0名 : パートタイム 3名			夜間専門員	名	
定員	112名	実績利用者数 81名/月	充足率 72%	計	7名	
項目	事業計画			事業実績		
1 基本方針	<p>(1)ご利用者様が可能な限り住み慣れた場所で、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、必要な生活支援及び身体支援を行います。</p> <p>(2)ご家族様の身体・精神的負担の軽減を図るために、必要な相談援助を行います。</p> <p>(3)ご利用者様の人権と安全を確保した介護の提供と、個人の尊厳を尊重したサービスの提供をします。</p>					
2 運営	<p>(1)ご利用者様の思いを大切に、安心・安全に生活が送れるよう支援します。</p> <p>(2)新型コロナウイルス感染症については、手洗い、マスクの着用、手指のアルコール消毒を徹底し、三密を防ぎ、感染拡大防止に十分に配慮します。</p> <p>(3)地域包括支援センターや医療機関との連携を行い、ニーズの掘り起こしをします。</p> <p>(4)職員はプロの自覚を持って、自己研鑽に努め、質の高い介護を目指します。</p> <p>(5)介護保険だけでなく自費サービスを利用いただくことで、ご利用者様のニーズに合わせた多様なサービスを提供し、訪問支援事業の拡大と安定を図ります。</p> <p>(6)ご利用者様の個人情報等の守秘義務及びコンプライアンスを遵守します。</p>					
3 主な事業内容 (1)施設整備事業 (2)事業活動	<p>(1)施設整備計画 なし</p> <p>(2)事業活動 コスモスを通じての地域との交流。 みのり大山入居者様と7月にコスモスの植え。種取りをして11月の文化祭に来場の地域の方に配布。</p>			<p>(1)施設整備実績 なし</p> <p>(2)事業活動 コロナ感染予防のため、植え、種取りは職員が行った。種の配布についても、地域の方の参加ができなかったため配布する事ができなかった。</p>		
4 安全管理・衛生管理	<p>(1)感染症予防に向け衛生管理と衛生教育の徹底を図ります。</p> <p>(2)新型コロナウイルス感染症について、感染拡大防止のため「手洗い」「手指のアルコール消毒の徹底」、屋外も含め短時間でも会話時にはマスクを着用し、三密を避け、危機管理意識を持って感染防止に取り組みます。また、感染拡大を抑えるのは個人の行動にあることを認識し、基本的な感染予防「感染しない」「感染させない」を意識し感染防止の一層の徹底をします。</p> <p>(3)職員の健康管理 ・体調が悪い職員が出勤することがないよう、職員の健康管理を徹底します。 ・アルコール等適切な方法による消毒を行います。(共同利用空間における感染予防) ・休憩室等で飲食する際はマスクを外す時間を最小限とし、適切な距離を保ちます。</p>			<p>(1)コロナ陽性者の支援時も、防護服、消毒の徹底を行う事で、感染拡大防止に努めた。定期的に感染症の勉強会も行った。</p> <p>(2)定期的な委員会の開催はできなかったが、ヒヤリハット、苦情等が出た時は問題を検証し、解決に向け取り組んだ。</p> <p>(3)体調確認を毎日行い感染予防に努めた。</p>		

	<p>(4)事故防止・苦情解決等の委員会を開催し、ヒヤリハット、ご意見や苦情を検証し、サービスの改善に努めます。</p> <p>(5)交通規則の厳守、アルコールチェック、運転日誌の記録、車の点検をする等交通安全に努めます。また、必要時応じて運転講習会に参加します。</p>	<p>(4)事故防止や苦情に対し職員間で話し合いサービス改善に努めた。</p> <p>(5)アルコールチェック、日誌の記録、車の点検を毎日行い交通安全に努めた。</p>
5 防災・火災、救助体制	<p>防災・防災、救助活動</p> <p>防災計画及び災害対応マニュアルにより、防災及び災害時の人命の安全・被害の軽減を図ると共に、みのり大山で行われる防火訓練(年2回)の参加、地域防災状況の把握、有事に迅速な対応ができる環境整備を行い、併設している居宅ふくもりと共同して入居者様の安全の確保を行います。</p>	<p>5月 みのり大山避難訓練(水害・洪水)の机上訓練に参加した。</p> <p>6月 14:00～ みのり大山の避難訓練(夜間想定)に参加した。</p> <p>10月 14:00～ みのり大山の避難訓練(日中想定)に参加した。</p>
6 職員の資質の向上と研修	<p>施設内外の各種研修を通して職員の資質の向上を図ると共に、専門知識及び技術の向上を図ると共に、専門知識及び技術の向上を目指します。</p> <p>(1)外部研修への参加</p> <p>①高齢者介護研修、初任研修等及び、キャリアアップ研修等を通じ、自己研鑽を図ります。</p> <p>②介護専門職研修を通じ、介護技術の習得に努めます。</p> <p>③実務経験の少ない職員については介護技術・知識の研修を行い、レベルアップに努めます。</p> <p>(2)法人内部研修への参加</p> <p>(3)施設内のOJT・職場研修の実施</p> <p>①定期的に施設内学習を行います。</p> <p>②外部研修を受けた職員が伝達研修を実施します。</p> <p>(4)職員の資格取得のための取組み</p> <p>(5)職員間の日常的な連携、報・連・相の徹底</p> <p>資格に対する法人の助成制度を活用し、誰もが安心して住み続けられる社会を目指します。</p>	<p>(1)外部研修への参加</p> <p>3/8介護サービス事業者集団指導視聴(1名) 3/13高齢者虐待防止・権利擁護研修(職員向け1名・管理者向け1名)</p> <p>(2)法人内部研修に参加した。</p> <p>(3)施設内のOJT・職場研修の実施した。</p> <p>4月「見守りの援助」「自分でできるをサポート」 5月 高齢者の病気について</p> <p>6月 言葉使いと話し方 7月 介護現場で欠かせない「声掛け」</p> <p>8月 利用者様の生活歴を知る 9月 ストレスについて</p> <p>10月 低栄養予防のポイント 11月 高齢者の冬の健康管理</p> <p>12月 精神疾患のある方への支援 1月 勇気づけのコミュニケーション</p> <p>2月 身体介護について 3月 春に起こりやすい体調不良</p> <p>(4)介護福祉士資格取得に向け取り組んだ。</p> <p>(5)メモや業務日誌、ヘルパーのグループラインを活用し取り組んだ。支援時に何か変化があった際は、すぐに関係者へ報告し、支援内容の見直しや継続的な観察を行う事で、ご利用者が安心して過ごせるよう取り組んだ。また、できる限り残存機能を活かした支援を行い、機能維持を図った。</p>
7 SDGsの取り組み	<p>地域共生社会の実現に向け、誰もが地域で安心して住み続けられる社会を目指します。</p> <p>「目標3 全ての人に健康と福祉を」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の健康診断、腰痛検診、ストレスチェック、ワクチン接種等 ・身体的虐待、介護・世話の放棄放任、心理的虐待、性的虐待、経済的虐待の撲滅 	<p>地域によってばらつきはあったが、できる限り地域で支え合った支援が展開できるよう取り組んだ。</p>
8 職員の健康維持・増進	<p>心身ともに健康で働くために、予防的な観点から健康保持増進に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業時間内のリフレッシュ体操、腰痛体操の実施。 ・簡易のストレスチェックの実施。(1回/6ヶ月)・管理者等のメンタルヘルスに関する研修参加。 ・法定健康診断の実施及び健康指導における面談の実施。(必要により継続的に面談を行う) 	<p>職員の健康維持と増進を図るため、毎日の体操を実施した。</p>
9 各種団体との連携と地域交流	<p>(1)広報紙の発行・配布</p> <p>発行回数:1回/年</p> <p>配布先:地域包括センター、居宅介護支援事業所、地区公民館、地区自治会等</p>	<p>広報誌の発行・配布</p> <p>発行回数 :発行できなかった。</p>

季節・年間行事

施設名: こもれび

実施月	行事計画	行事实績
令和5年 4月	大山行事(花見)	なし
5月	大山行事	なし
6月	大山行事	6/8避難訓練(夜間想定)参加
7月	大山行事	なし
8月	大山行事	なし
9月	大山行事	9/1満足度調査、9/9福祉の里まつり参加
10月	大山行事	10/28福祉の里文化祭 参加、10/31避難訓練(日中想定)参加
11月	大山行事	なし
12月	大山行事	なし
令和6年 1月	大山行事	1/15とんど祭り参加
2月	大山行事	なし
3月	大山行事	なし